

令和4年3月2日

受 講 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

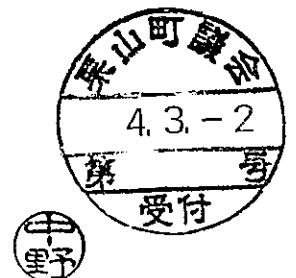
栗山町議会議員 藤 本 光 行



このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 研 修 日 令和4年1月31日
- 2 目 的 オンラインによる研修会 受講
- 3 研修内容
オンライン議会最前線 実践と可能性
基調講演「DXとデモテックで地方から・議会からかえていけ」
北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）
「討論の広場と議事機関としての議会とオンライン」
廣瀬 克哉氏（自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代
表、法政大学総長）
実践報告 取手市議会、大津市議会、知立市議会
ディスカッション
- 4 関係書類 別紙のとおり



オンライン議会最前線

ローカル・マニフェスト推進連盟 オンライン研修会 実践と可能性

オンライン開催

1/31月
14:00-16:30

2020年の新型コロナウイルス感染症は、議会活動にも大きな影響をおたました。初期においては専決処分や一般質問のとりやめなどの事例が一部報道されましたが、多くの議会では自治体の議事機関としての機能を果たすべくさまざまな工夫によりその機能の発揮や維持への取り組みが行われています。

「議員が集まって議論する」という議会の本質的なありかたについて、その本質を問い直し、非常事態における議会機能の維持とさらなる活動展開へ、オンラインを活用する議会が一気に広がり、さまざまなオンライン議会の活動が展開されています。

なぜオンラインに取り組むのか。非常事態以外でも活用すべきか。本会議でも可能なのか。先進事例の報告と必要な環境整備、条例改正など今後のオンライン議会の可能性を議論します。ぜひご参加ください。

基調提起

「DXとデモテックで地方から・議会から変えていけ」

北川 正恭

早稲田大学名誉教授、元三重県知事



基調講演

「討論の広場と議事機関としての議会とオンライン」

廣瀬 克哉

自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表
法政大学総長



実践報告

「デモテック前進！デジタルとオンラインで議会がかわる」

齋藤 久代

茨城県取手市議会議員

岩崎 弘宣

同議会事務局次長

取手市議会

ディスカッション

コーディネーター

廣瀬 克哉
自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表
法政大学総長

パネリスト

齋藤 久代

取手市議会議員

岩崎 弘宣

取手市議会事務局次長

清水 克士

大津市議会議員

中野 智基

知立市議会議員

田中 健

知立市議会議員・議会DX推進PT座長

実践報告

「コロナと非常事態に備える！オンライン本会議実現へのミッションロードマップ」

清水 克士

滋賀県大津市議会議員

大津市議会

実践報告

「もっと市民に開いていく！議会DXの推進でチャンスロスをなくせ」

中野 智基

愛知県知立市議会 議員

田中 健

同議会DX推進PT座長

知立市議会

日時 2022年1月31日（月）14時から16時30分まで

会場 Zoom ミーティング

対象 議員、首長、議会事務局・自治体職員、市民等

参加費 議員 5,000円（税込）

一般（市民・議公事務局職員等）2,000円（税込）

申込期限 2022年1月28日（金）17時

お申込

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/news/2021121300013/>

《注意事項》1. お申し込み前にホームページ記載の留意事項を必ずご確認ください。

2. 請求書払いのご希望は専用フォームにて発行手続きをしてください。こちらからお申し込みください。

《問合せ先》

事務局：早稲田大学マニフェスト研究所（担当：山内、亀井）電話番号：03-6214-1315 メール：mani@manifesto.jp



■ 件名 中野真里様:LM推進連盟より 請求書発行の申込を受け付け
ました
送信者 "ローカル・マニフェスト推進連盟事務局" <mani@maniken.jp>
宛先 gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp
送信日時 2022年01月28日(金) 08:55:57

中野真里 様

お世話になっております。

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局（早稲田大学マニフェスト研究所内）です。

【1/31】「オンライン議会最前線 実践と可能性」（オンライン開催）につきまして、請求書発行のお申込みを受け付けました。
発行準備が整い次第、1週間程度を目安に郵送にてお届けしますので、恐れ入りますが、少々お待ちください。

なお、何かご不明な点がございましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。
何卒宜しくお願い致します。

ご登録内容

参加イベント名 : 【1/31】「オンライン議会最前線 実践と可能性」（オンライン開催）

チケット（1）枚数（議員） : 4

チケット（2）枚数（一般） :

参加者氏名 : ・藤本光行（北海道栗山町議会議員、1/31研修会参加）

・佐藤則男（北海道栗山町議会議員、1/31研修会参加）

・土井道子（北海道栗山町議会議員、1/31研修会参加）

・三田源幸（北海道栗山町議会議員、1/31研修会参加）

請求書お宛名 : 栗山町議会

請求書但し書／日付 : オンライン議会最前線 実践と可能性（令和4年1月31日）

参加費として

郵便番号 : 069-1512

郵送先住所 : 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地 栗山町議会事務局

ご担当者様氏名 : 中野真里

ご担当者様メールアドレス（大・小文字無視） : gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

ご担当者様電話番号 : 0123-73-7517

請求書原本・データ : 原本を郵送

領収書原本・データ : 原本を郵送

備考 :

<問合せ先>

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局

（早稲田大学マニフェスト研究所内／担当：亀井・山内）

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町517-1 ドラード早稲田402

TEL 03-6214-1315 FAX 03-6214-1186

E-mail mani@maniken.jp

日 時	令和 3 年 / 月 8 / 日 14:00 ~ 16:30
視 察 先	ローカル・マニフェスト推進連盟 オンライン研修会 「オンライン議会最前線 実践と可能性」
調査事項	
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 2020年からの新型コロナウイルス感染症の流行は、地方議会の活動にも大きな影響をあたえ、同時にさまざまな課題も浮き彫りにした。 感染症流行下における議会機能維持対策としてオンラインを活用した手法が示され、全国でさまざまな取り組みがなされ始めている。 今回の研修会をとおしてオンライン議会に取り組む先進事例について学び、非常事態にも対応可能な議会のしくみづくりについての知見を得ることを目的とする。 2. 研修内容は別紙のとおりであるが、本研修会はZoomミーティングを活用したオンライン講座であり、我々も議会より貸与されているタブレットを使用し、研修会に参加した。 4. 今回の研修で語られ、論せられたことの要約は、今回のような感染症のまん延や激甚災害の発生があった時にも

自治体機能を維持し、住民サービスを続けて行くには、デジタル機器を活用し、様々な議会活動とオンラインで行える体制づくりが必須であるということだ。

その実現のための課題としては、合議機関としてオンラインで本会議を開くことができないという現状の法体制。

オンラインという環境ではたして意思疎通しから十分な議論ができるのか。

オンライン会議を行うためには様々なインフラが必要で、その費用の問題、デジタル機器をフル活用するための議会事務局の体制づくりと、議員個々に求められる習熟。

オンライン議会の活用を非常時に限らず活用すべきか。

などが上げられた。

省みて、栗山町議会の現状をみるとインフラ整備の面では、ほぼデジタル化が進んでいるが、(各議員へのポイント貸与、Wi-Fi環境など) 制度設計をしっかりと議員の意思統一をはかりながら着実にデジタル化対応をはかっていかねばならないと考える。

先進自治体の例に見るように、様々な「トレーニング」の機会を持ち、現段階では、非常時に、いかに即応できるのか、議会の中で議論を重ねて行きたい。